

平成22年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1493200107	事業の開始年月日	平成19年6月
		指定年月日	平成19年6月
法人名	社会福祉法人 幸済会		
事業所名	高齢者グループホーム かわしまの里		
所在地	(〒241-0011) 横浜市旭区川島町1882-1		
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
		通い定員	名
		宿泊定員	名
	認知症対応型共同生活介護	定員計	18名
		工外数	2工外
自己評価作成日	平成23年1月	評価結果 市町村受理日	平成23年5月19日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

目の前に大きな公園があり、散歩や外気浴など気分転換を図るのに最適な環境です。公園で行われる夏祭りや定期清掃などを通じ、少しずつ地域の方との交流も増えてきております。
法人の理事長が診療所の院長の為、毎日診療所に身体・精神状況報告書を作成したものをFAXし、訪問看護や受診にて日々の健康管理に努めております。また、平成22年8月より夜間ケア加算を取り入れ、月のおよそ3分の2は3人夜勤体制を行っており、今まで行えなかった希望される方への夜間帯の入浴なども行える様になっております。

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社団法人かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横判市中区本町2-10 横浜大栄ビル8階		
訪問調査日	平成23年2月23日	評価機関 評価決定日	平成23年5月11日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

【事業所概要】

この事業所は、相鉄線鶴ヶ峰駅より徒歩12分程度の場所に立地している。周辺は住宅地で、事業所の前には道路を挟んで、遊具・築山・植栽・ベンチがゆったり配置された大きな公園（櫛谷公園）がある。この公園は近隣の方の利用が多く、特に児童や園児の遊び場所となっており、利用者が散歩の際に交流できる場となっている。また地域のお祭りの開催場所でもあり、利用者も参加している。

【法人のバックアップ】

隣区に関連法人の東川島診療所（内科・心療内科・皮膚科等）があり、医療面でバックアップを得ている。また、特養、グループホーム（当事業所のほかに2ヶ所）、居宅、通所サービスを周辺地域で運営しており、法人の事業所合同で河口湖や箱根へ1泊旅行に行くなど、行事や職員研修で連携している。訪問時には、法人グループで開催した運動会の表彰状が飾られていた。

【夜間職員3人体制】

2ユニットのグループホームであるが、夜勤は原則職員3人で、手厚い体制となっている。また、このことから希望に応じて夜間帯の入浴にも対応することができる。

【改善に向けた取り組み】

昨年度の外部評価では、「事業所独自の理念の策定」および「ご家族からの意見・要望の記録簿作成」が課題として挙げられた。これに対して事業所として取り組み、確実に成果を上げている。外部評価以外でも、日常の中で課題を見つけ、より良いサービスを提供するという意識が感じられる事業所である。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	高齢者グループホーム かわしまの里
ユニット名	一茶

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「慣れ親しんだ地域で、家族や地域との交流を通しながら、家庭的な雰囲気の中でゆっくり、一緒に楽しく過ごして頂く」という理念を中心に少しずつですが、ご家族様以外との交流も増えてきております。	事業所としての理念の作成が昨年度の課題であったが、管理者と計画作成担当者が相談しながら作成し、他の職員からも賛同を得ている。理念は事業所の見やすい壁面に掲示している。理念の実践に向け、運営推進会議などを通じて地域との交流を進めている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	一部のご利用者様しか行えていないが、公園の定期清掃を行える時は参加している。また、地域のお祭りに参加したり、当ホームで行うボランティアによるコンサートなども、地域の方が来所して下さる事があります。	道路を挟んで事業所の向かいに公園があり、散歩時などに地域の方と交流している。笠町内会に事業所として加入し、祭りなどに参加している。保育園児の訪問が月1回定期的にあり、七夕やクリスマスなどのイベントで交流している。マンドリン演奏等のボランティアの訪問もある。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域住民に向けては未だ殆ど活かして見えていないが、見学に来られた方や問い合わせ等は、確りとしたご説明を心掛けております。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、非常災害時の取組みなどに良いアドバイスを頂いて実践に活かしております。また、春には地域との避難訓練を実施していく予定で、その件でもアドバイスを頂いております。	今年度は5回開催している。保健推進活動委員、民生委員、地域包括支援センター職員が参加しているが、今のところ家族参加はない。会議では、ボランティアの紹介や避難訓練についての話し合いを行っている。	今後は、家族の参加も呼びかけ、他の参加者と共に意見交換や情報共有が出来る機会となることを望みたい。
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	役所を通しての緊急のケースの受け入れや、実質単身扱いの方のケースなど、良くご相談を頂いております。	生活保護受給中の方や単身者などの入居相談を受けている。「鶴ヶ峰地域支え合い連絡会」に参加しており、区や社会福祉協議会の職員のほか保育所や近隣の方と、防災など地域の課題について意見交換している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束排除の理念を掲げ、勉強会を活用しながら、身体拘束ゼロへ取り組んでおります。玄関に関しては、ご家族様にご理解を頂きながら、施錠を行っております。	「身体拘束ゼロへの手引き」を職員に配布している。法人内の3つのグループホーム合同で「身体拘束委員会」を設け、全体で研修を企画・実施している。ホームの前がすぐ道路であることもあり、家族の了承を得て日中は玄関・勝手口の鍵をかけているが、ユニット入口は施錠していない。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員には毎年、勉強会を通じて虐待防止に向けた研修を行い、実践しております。玄関には、高齢者虐待防止の資料を備えております。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修では学んでいるが、施設の動きにより、自立支援事業や成年後見制度を利用した事はありません。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約前には、基本的に施設見学をして頂き、サービスや料金についての説明をさせて頂いております。その際に、不安な点や分からない事を必ず伺い、その上で契約を通し、再度丁寧に説明する事を心掛けております。契約書・重要事項説明書の雛形も窓口に配置し、自由に目を通せる様にしております。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご意見箱の設置を行っておりますが、なかなか活かしきれていないので、面会や家族連絡の際に何か有りますかと伺う様に心掛けております。また、苦情のみだけでなく、ご要望ノートという物を作成し、少しでもご意見を反映出来る様にしております。	記録簿の作成が昨年度の課題であったが、「ご要望ノート」を作成し、これにご家族からの意見を集約するようにした。ご家族からの要望で食事中におしぼりを用意するなどの改善を行ったケースがある。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	会議などを通じて、意見交換をする機会がありますが、定期的に行っている訳では無く、また意見交換も経験的にも中間クラスの職員と行いがちなので、幅広い意見の反映とは言えません。	法人全体の会議に管理者が参加するほか、事業所内の会議は年3回ほどあり、職員から意見を聞いている。職員からの提案により、引継ぎ時の負担を減らすため夜勤の勤務時間を変更したケースがある。	現在も不定期に職員の意見・要望を聞いているが、今後は、定例会議の開催など、職員から定期的に意見を聞く機会を作ることも期待したい。
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者が直接個々との面談などは殆ど行えておりませんが、管理者が話す機会を多く持っております。また、在宅サービスの事業長には個々の記録物の提出等を通じ、個々の能力の把握に努めております。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年間の研修カリキュラムを中心に個々のスキルアップの機会を多く作って頂いております。また、少しずつですが、外部研修も参加が行える様になってきております。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	法人内での、様々なサービスの繋がりを大切にしており、研修や行事の時などに交流を多く図っております。また、年に1度他の施設見学も研修カリキュラムに入っており、他の施設の話を伺う良い機会になっております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	施設の入所前は、基本のご利用者様に中の雰囲気を感じて頂き、スムーズに入所出来る様に配慮しております。また、入所時のアセスメント等を通じ、不安の解消等に対応しております。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	契約の際に、ご家族様のご意向などを必ず伺うように心がけております。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	計画作成担当者を中心に先ず、ご本人様に慣れて頂く様なケアを職員間に徹底させています。また介護保険の他サービスは使用していませんが、医療との連携や歯科受診など、今までの診療が途切れない様にも努めております。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	食事作りや盛り付け、食器洗いや洗濯物たたみ、掃除機かけなど、利用者様の3分の2程の方には出来ることを手伝って頂き、一緒に家事を行う様心掛けております。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月の手紙や状態が優れない時などの連絡を通して情報の共有に努めております。また、ご本人の希望に応じてご家族様と相談し、一時帰宅の援助や定期的な電話、ご家族の面会をお願いしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	行きつけの床屋にお連れしていましたが、ADL低下のため機会が減っております。数人の方には年賀状や手紙の代筆、近くの施設におられる知人に会いに行くなどの援助を行っております。	近隣に住んでいる友人の訪問があった場合には居室に案内し、関係継続を支援している。家族と墓参りに行ったり、近くにある特養に入居している友人を訪ねるなどの支援を行っている。	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士の相性や関係の把握に努めています。それぞれの役割づくりをすすめ、状況によっては席替えも行って、職員が間に入りながら良い関係を作って頂くよう援助しております。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	こちらから、ご連絡する事は殆どありませんが、ご相談などがある際は確りと対応させて頂いております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	担当職員と計画作成担当者を中心にアセスメントを行い、意向の把握に努めている。ご本人様に意向が伺えない時は、職員・ご家族様で話し合いを行っております。	職員ミーティングで情報を集約し、入居者の希望を具体的に把握している。検討内容は職員全員で回覧し、確認印を押して共有している。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時の情報収集で概ね行えているが、単身者など情報が不十分な方もいるので、一人一人確りと振り返っていきたいと思います。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	担当職員と計画作成担当者を中心にアセスメントを行い、意向の把握に努めています。今後は、振り返りの期間もより短く設定し、確りとした現状把握に努めていきたいと思います。		
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご利用者様、ご家族様、担当職員、計画作成担当者が中心となって行っておりますが、非常勤職員との話し合いの機会は未だ多くないので、今後ご利用者様に携わる全職員の意見を大切にしていきたいと思います。	3か月ごとにモニタリングし、長期目標は6か月ごとに見直している。状態変化があった時など必要時には随時見直している。本人の思いや意向をもとに、面会時や電話で家族の意向を確認している。計画は計画作成担当者と担当職員で作成し、他の職員も確認している。家族にも説明して同意を得ている。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	情報の共有に関しては、連絡ノート・申し送り等で行えていると思いますが、記録に関しては、一部の職員で簡略化されている部分もあるので、確りとした記録を心掛けていきたいと思います。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	グループホーム内の事のみに関らず、介護認定の更新手続きや特養の申し込みの相談、支援を行っております。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域のボランティア様の音楽会や町内会によるお祭りや敬老の日のお祝い、地域の園児達の定期訪問などご利用者様を楽しませて下さっております。		
30	11	かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	当事業所の協力病院が中心ですが、協力病院外はご本人様・ご家族様と相談して決めております。	協力医療機関の東川島診療所を利用している方が多い。眼科や耳鼻科などの診療科に受診している方もおり、原則として家族が対応している。受診後に家族から話を聞き、情報を共有している。	
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎週の訪問看護の他に、身体精神状況報告書というものを毎日診療所の看護師・医師向けにFAXしており、情報の共有とより適切な対応を受けられる様に支援しております。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	小まめな面会を心がけ、情報の収集に努めております。また、ムンテラに関しても、必ず参加をさせて頂き、早期の退院が可能となる様に努めております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居契約時に重度化した場合の指針を提示し、ご理解を頂いております。またこの際に、終末期に向けた指針もお伝えしております。</p>	<p>入居時には重度化した場合の指針について、看取りの開始時には看取り介護について、それぞれ入居者及び家族に説明し、同意書をもっている。医師・看護師に24時間連絡できる体制があり、これまでに2人を看取ったことがある。</p>	
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>年に2度全職員に救命講習を受講し、学んでおります。また、事務所にも緊急時の対応を掲示しております。</p>	/	/
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>災害時のマニュアルと年に2度の消防署立会いの避難訓練で安全な避難誘導體制を研修しておりますが、地域との合同の訓練は未定な事と、全ての職員が迅速に対応出来るという部分では不十分な部分があるので、個別に確認（指導）していくなどの対応を行っていきたいと思います。</p>	<p>年2回、消防署立ち会いで夜間想定 of 避難訓練を行っており、夜勤に入ることがある職員は、必ずどちらかに参加している。内容は、消火器の使用や利用者の避難誘導などである。5月には、事業所前の公園で行う地域の防災訓練に参加する意向である。備蓄は同法人の「かわしまホーム」に一括して揃えているが、当事業所としても揃えることを検討している。</p>	<p>現在、地域の防災訓練への参加を検討しているので、ぜひ実現を望みたい。また、事業所としても数日分の備蓄を備えることを併せて望みたい。</p>

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシー保護の研修を中心に全職員にマニュアルの配布を行い改善されてきています。実践が不十分な職員には、その都度の説明と指導を行っていききたいと思います。	プライバシー保護についての法人のマニュアルに基づいて研修を行っているほか、当事業所のサービスに合わせた具体的なマニュアルを管理者が作成し、職員に配布している。洗濯物は人目につかないように干すなど、プライバシーに配慮した対応をしている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	希望などがあつた際は、管理者まで話が通るように、職員が口頭やメモで必ず残す様にしています。買い物なども、極力一緒に行動して本人様に選んで頂く様に支援しています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	買い物の希望など柔軟な対応を出来る限り行っているつもりですが、受診の人数が多い日や職員体制によっては入浴等の希望を職員の行える時に行う事もございます。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	選択が可能な利用者様にはその日の洋服を選んで頂くほか、少数の女性利用者様の希望に応じて髪染めや美容院通い、マニキュア塗りなどを職員が援助して行っております。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	配膳や下膳、片付け等は行って頂いておりますが、調理に関しては極一部の方しか行えていないので、行える環境をもう少し作っていききたいと思います。未だ、多くは行っていませんが、ホットプレートを使用した、ご利用者様によるおやつ作りも始めております。	職員も利用者と一緒に同じ物を食べている。包丁で食材を切るなどの調理、盛り付け、配膳、食器洗いなどはできる利用者が行っている。食材は、平日は配達を利用しているが、土日は利用者の希望を聞いてメニューを決め、職員が食材を買い出しに行く。利用者と一緒におやつを作ったり、すしや鰻、そばなどの外食の機会が年4回ほどあり、楽しみとなっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	摂取記録に関しては毎日記録し、ご本人様にあった形態（ミキサー、お粥、トロミ、プリンなどの補食）を提供しております。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	介助を要する方の口腔ケアは確りと実施できておりますが、ご自分で行える方の確認は不十分な事もある為、今後もっと確認していきたいと思えます。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	定時の誘導の他に、その方が落ち着かない際のトイレ誘導など柔軟に対応しております。また、トイレ内では出来ることはご本人に行って頂き、人により夜間のポータブルトイレ使用などで対応しております。	利用者全員分の、水分・食事摂取量と排泄・排便時間をチェック表に記録している。トイレでの排泄を基本として、誘導している。歩行が不安定で失禁していた方が、歩行が改善したことで排泄も改善された例がある。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便困に関しては、きめ細かく職員が情報を共有しているが、下剤の調整がメインになってしまい、食事や運動による基本的な予防という点では不十分と思われます。今後、便困者の運動や野菜の摂取量などにも気を遣っていききたいと思います。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	基本的に入浴の曜日は設けず、行える時に声を掛け、その日の本人の気分を優先しております。日中に職員の都合で行えない時でも、3人夜勤体制を活かし、夜ならご用意出来ますけどなど、極力希望に沿える様には努めております。	入浴日は特に設定していない。週2～3回入浴する方が多い。夜勤は職員3人体制にしており、夜間帯の入浴の希望に応えている。入浴剤を入れたり、ゆず湯にしたりして楽しめるように工夫している。入浴したがない方に対しては、清拭にするなどの対応をしている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の意向や疲労感に注意し、静養を促したりしております。また、夜間帯なども眠れない方には、リビングでお話をしながら温かい物を提供したりしております。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の種類や目的などは確りと確認し、支援しているが薬の副作用という点では全ての薬について把握しているわけではありません。今後は副作用についての細かい知識も補っていきたいと思います。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	出来る範囲で日々の役割を持って頂き、一人一人の能力と希望に応じて家事の分担、歌や散歩、トランプ、買い物への援助などを出来るだけ行う様に努めておりますが、未だ不十分な面が多いと思います。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	その日の希望という点では、実施出来ない事が多いとおもいますが、事前に希望がある際は叶えられる様に調整しております。	日常的な散歩としては、事業所前の公園やスーパーなどへ行っている。散歩チェック表をつけており、車いすの方も外出している。イベントとしては、イチゴ狩りや川崎大師詣でのほか、法人合同で箱根などに一泊旅行に行く機会もある。個別の外出としては、買い物を計画に位置付け、職員と出かけるケースがある。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理が出来る方には小遣いを持って頂き、一緒に買い物に行った際に、支払いをお願いしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	定期的にご家族に電話する方もおられますが、ご利用者様から電話の希望があった際は、掛けられる様に支援しております。手紙に関しては、一緒に読む事が多く、一人の方のみ年賀状の代筆などを行っております		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	殆どの部分に施錠箇所が無く、どこでも自由に入出入り出来る様になっております。また、トイレ・風呂場・居室には、大きく名前を張り、混乱の減少に努めております。生活感や季節感については未だ不十分です。	玄関にはシクラメンの鉢植えが飾られ、内部との仕切りにはステンドグラスが使われており華やかである。窓が多く、十分な採光が取り入られており、訪問時は照明を付けなくても十分な明るさが確保されていた。リビングには利用者のお誕生日表や入居者が詠んだ俳句、法人グループで開催した運動会の表彰状などが飾られている。	訪問時には家庭的で明るい雰囲気を感じられた。今後のさらなる取り組みとして、季節感を、より生活に取り入れていくことを望みたい。
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングの座席等は、互いが不快にならない様に気を遣っております。また、ソファを好まれたり、テーブルを好まれる方など各々好きな場所で過ごされております。共用部分で一人になる所はございません。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	基本的に、処遇上危険と判断しない物は何でも持ち込んで頂いております。皆様、今までの馴染みのものを持ち込まれております。	利用者は、ベッドやタンス、テレビ、エアコンなどの家具・家電のほか、鏡、いす、加湿器、時計、人形、家族写真、カレンダーなどなじみのものを持ち込み、居心地の良い居室を作っている。自分で洗濯してベランダに洗濯物を干す方もいる。居室のドアには担当職員の写真を張っている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	殆どの部分がバリアフリーになっており、各々が自由に生活しております。転倒などの事故予防の為、リビングなどの空間に障害となる物を少なくして対応しております。		

平成 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1493200107	事業の開始年月日	平成19年6月
		指定年月日	平成19年6月
法人名	社会福祉法人 幸済会		
事業所名	高齢者グループホーム かわしまの里		
所在地	(〒241-0011) 横浜市旭区川島町1882-1		
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
		通い定員	名
		宿泊定員	名
	認知症対応型共同生活介護	定員計	9名
		工外数	2工外
自己評価作成日	平成23年1月	評価結果 市町村受理日	

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

目の前に大きな公園があり、散歩や外気欲など気分転換を図るのに最適な環境です。公園で行われる夏祭りや定期清掃などを通じ、少しずつ地域の方との交流も増えてきております。法人の理事長が診療所の院長の為、毎日診療所に身体・精神状況報告書を作成したものをFAXし、訪問看護や受診にて日々の健康管理に努めております。また、平成22年8月より夜間ケア加算を取り入れ、月のおよそ3分の2は3人夜勤体勢を行っており、今まで行えなかった希望される方への夜間帯の入浴なども行える様になっております。

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名			
所在地			
訪問調査日		評価機関 評価決定日	

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

--

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	高齢者グループホーム かわしまの里
ユニット名	芭蕉

アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「慣れ親しんだ地域で、家族や地域との交流を通しながら、家庭的な雰囲気ですっきり、一緒に楽しく過ごして頂く」という理念を中心に少しずつですが、ご家族様以外との交流も増えてきております。		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	一部のご利用者様しか行えていないが、公園の定期清掃を行える時は参加している。また、地域のお祭りに参加したり、当ホームで行うボランティアによるコンサートなども、地域の方が来所して下さる事があります。		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域住民に向けては未だ殆ど活かしきれないが、見学に来られた方や問い合わせ等は、確りとしたご説明を心掛けております。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、非常災害時の取組みなどに良いアドバイスを頂いて実践に活かしております。また、春には地域との避難訓練を実施していく予定で、その件でもアドバイスを頂いております。		
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	役所を通しての緊急のケースの受け入れや、実質単身扱いの方のケースなど、良くご相談を頂いております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束排除の理念を掲げ、勉強会を活用しながら、身体拘束ゼロへ取り組んでおります。玄関に関しては、ご家族様にご理解を頂きながら、施錠を行っております。		
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員には毎年、勉強会を通じて虐待防止に向けた研修を行い、実践しております。玄関には、高齢者虐待防止の資料を備えております。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修では学んでいるが、施設の動きにより、自立支援事業や成年後見制度を利用した事はありません。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約前には、基本的に施設見学をして頂き、サービスや料金についての説明をさせて頂いております。その際に、不安な点や分からない事を必ず伺い、その上で契約を通し、再度丁寧に説明する事を心掛けております。契約書・重要事項説明書の雛形も窓口配置し、自由に目を通せる様にしております。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご意見箱の設置を行っておりますが、なかなか活かしきれいでないので、面会や家族連絡の際に何か有りますかと伺う様に心掛けております。また、苦情のみだけでなく、ご要望ノートという物を作成し、少しでもご意見を反映出来る様にしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	会議などを通じて、意見交換をする機会がありますが、定期的に行っている分けでは無く、また意見交換も経験的にも中間クラスの方と行いがちなので、幅広い意見の反映とは言えません		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者が直接個々との面談などは殆ど行えておりませんが、管理者が話す機会を多く持っています。また、また在宅サービスの事業長には個々の記録物の提出等を通じ、個々の能力の把握に努めております。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年間の研修カリキュラムを中心に個々のスキルアップの機会を多く作って頂いております。また、少しずつですが、外部研修も参加が行えるようになってきております。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	法人内での、様々なサービスの繋がりを大切をしており、研修や行事の時などに交流を多く測っております。また、年に1度他の施設見学も研修カリキュラムに入っており、他の施設の話を伺う良い機会になっております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	施設の入所前は、基本のご利用者様に中の雰囲気を感じて頂き、スムーズに入所出来る様に配慮しております。また、入所時のアセスメント等を通じ、不安の解消等に対応しております。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	契約の際に、ご家族様のご意向などを必ず伺うように心がけております。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	計画作成担当者を中心に先ず、ご本人様に慣れて頂く様なケアを職員間に徹底させています。また介護保険の他サービスは使用していませんが、医療との連携や歯科受診など、今までの診療が途切れない様にも努めております。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	出来る事は行って頂き、出来ない事をお手伝いさせて頂くという事を心がけておりますが、介護度が重度の方もおり、一部の方しか積極的な手伝い等は行っておりません。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月の手紙や状態が優れない時などの連絡を通して情報の共有に努めております。また職員だけでは、判断が困難な事等は必ず家族に意向を確認して、ケアを進めております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	手紙を一緒に読んだりする事はありますが、馴染みの場所に行ったりする機会は未だ少なく、一部の方しかあまり実践できておりません。		
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	お手伝いやレクを通じてご利用者様同士の関係を支援しております。あまり、人と接するのが得意ではない方も、職員がお話の橋渡しをしたりしております。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	こちらから、ご連絡する事は殆どありませんが、ご相談などがある際は確りと対応させて頂いております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	担当職員と計画作成担当者を中心にアセスメントを行い、意向の把握に努めている。ご本人様に意向が伺えない時は、職員・ご家族様で話し合いを行っております。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時の情報収集で概ね行っているが、単身者など情報が不十分な方もいるので、一人一人確りと振り返っていききたいと思います。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	担当職員と計画作成担当者を中心にアセスメントを行い、意向の把握に努めています。今後は、振り返りの期間もより短く設定し、確りとした現状把握に努めていききたいと思います。		
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご利用者様、ご家族様、担当職員、計画作成担当者が中心となって行っておりますが、非常勤職員との話し合いの機会は未だ多くないので、今後ご利用者様に携わる全職員の意見を大切にしていきたいと思っております。		
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	情報の共有に関しては、連絡ノート・申し送り等で行っていると思いますが、記録に関しては、一部の職員で簡略化されている部分もあるので、確りとした記録を心掛けていきたいと思っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	グループホーム内の事のみに関らず、介護認定の更新手続きや特養の申し込みの相談、支援を行っております。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域のボランティア様の音楽会や町内会によるお祭りや敬老の日のお祝い、地域の園児達の定期訪問などご利用者様を楽しませて下さっております。		
30	11	かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	当事業所の協力病院が中心ですが、協力病院外はご本人様・ご家族様と相談して決めております。		
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎週の訪問看護の他に、身体精神状況報告書というものを毎日診療所の看護師・医師向けにFAXしており、情報の共有とより適切な対応を受けられる様に支援しております。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	小まめな面会を心がけ、情報の収集に努めております。また、ムンテラに関しても、必ず参加をさせて頂き、早期の退院が可能となる様に努めております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居契約時に重度化した場合の指針を提示し、ご理解を頂いております。またこの際に、終末期に向けた指針もお伝えしております。</p>		
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>年に2度全職員に救命講習を受講し、学んで頂いております。また、事務所にも緊急時の対応を掲示しております。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>災害時のマニュアルと年に2度の消防署立会いの避難訓練で安全な避難誘導體制を研修しておりますが、地域との合同の訓練は未だ未定な事と、全ての職員が迅速に対応出来るという部分では不十分な部分があるので、個別に確認（指導）していくなどの対応を行っていきたいと思います。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシー保護の研修を中心に全職員にマニュアルの配布を行い改善されてきている。実践が不十分な職員には、その都度の説明と指導を行っていきたいと思います。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	希望などがあつた際は、管理者まで話が通るように、職員が口頭やメモで必ず残す様にしている。買い物なども、極力一緒に行動し、本人に選んで頂く様に支援している。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	買い物の希望など柔軟な対応を出来る限り行っているつもりですが、受診の人数が多い日や職員体制によっては入浴等の希望を職員の行える時に行う事もございます。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	外出の際などは、その人に着て行きたい服や化粧を促したりと支援しているが、施設内では基本的にその人が希望される身嗜みを尊重しております。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	配膳や下膳、片付け等は行って頂いておりますが、調理に関しては極一部の方しか行えていないので、行える環境をもう少し作っていきたいと思います。未だ、多くは行っていませんが、ホットプレートを使用した、ご利用者様によるおやつ作りも始めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	摂取記録に関しては毎日記録し、ご本人様にあった形態（ミキサー、お粥、トロミ、プリンなどの補食）を提供しております。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	介助を要する方の口腔ケアは確りと実施できておりますが、ご自分で行える方の確認は不十分な事もある為、今後もっと確認していきたいと思っております。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	定時の誘導の他に、その方が落ち着かない際のトイレ誘導など柔軟に対応しております。		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便困に関しては、きめ細かく職員が情報を共有しているが、下剤の調整がメインになってしまい、食事や運動による基本的な予防という点では不十分と思われる。今後、便困者の運動や野菜の摂取量などにも気を遣っていききたいと思います。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	基本的に入浴の曜日は設けず、行える時に声を掛け、その日の本人の気分を優先しております。日中に職員の都合で行えない時でも、3人夜勤体制を活かし、夜ならご用意出来ますけどなど、極力希望に沿える様には努めております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の意向や疲労感に注意し、静養を促したりしております。また、夜間帯なども眠れない方には、リビングでお話をしながら温かい物を提供したりしております。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の種類や目的などは確りと確認し、支援しているが薬の副作用という点では全ての薬について把握しているわけではありません。今後は副作用についての細かい知識も補っていきたいと思います。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	お手伝いなど行える方には行って頂いておりますが、一人ひとりの生活歴という部分では不十分だと感じます。気分転換に関しては、散歩や行事が中心となっており、施設内レクに関してはもう少し個々の能力に応じたものを検討する必要があると思います。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	その日の希望という点では、実施出来ない事が多いとおもいますが、事前に希望がある際は叶えられる様に調整しております。		
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭を所持する方がおりませんが、買い物に行く時は、職員が全て行うのではなく、その方がレジの方と対応出来る様に品物を出して頂いたり、職員がお金を渡し、お支払いして頂く等の工夫をしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご利用者様から電話の希望があった際は、掛けられる様に支援しております。手紙に関しては、一緒に読む事が多く、こちらかわの返信は殆ど無いのが現状です。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	殆どの部分に施錠箇所が無く、どこでも自由に出入り出来る様になっております。また、トイレ・風呂場・居室には、大きく名前を張り、混乱の減少に努めております。		
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングの座席等は、互いが不快にならない様に気を遣っております。また、ソファを好まれたり、テーブルを好まれる方など各々好きな場所で過ごされております。共用部分で一人になる所はございません。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	基本的に、処遇上危険と判断しない物は何でも持ち込んで頂いております。皆様、今までの馴染みのものなどを持ち込まれております。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	殆どの部分がバリアフリーになっており、各々が自由に生活しております。転倒などの事故予防の為、リビングなどの空間に障害となる物を少なくしたりしてます。		

目標達成計画 (H23. 2外部評価指摘事項)

事業所名 かわしまの里

作成日 H23年5月1日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
3	3	運営推進会議において、事業所ではご利用者様しか参加していない。	面会に良く来て下さるご家族様など、運営推進会議の事を話し、参加して頂けないか、確認していく。	ご家族様への声掛け及び、参加し易い曜日・時間の検討。現在は、火曜日(週は不定)の16時～17時に行っている。	ご家族様の都合などもある為、また現在参加して下さっている委員の方の予定もある為、達成の期間は未定。
1	7	運営に関する職員意見の反映に関し、会議などは不定期の開催である為、定期的に意見を交換する機会を設ける。	定期的な会議の設置により、職員の意見交換の時間を作る。	H23年度は、3ヶ月に1度は定期的な会議を予定。また、その他でも必要が生じた際には不定期で開催していく。	H23.6より開催。
2	13	災害対策において、年2回の避難訓練を行っているが、地域住民が参加して訓練が1度もない。また、事業所内での備蓄が無い。	地域住民との避難訓練を実施していく。事業所内の備蓄に関しては、整備済(H23.3)	5月中に近隣住民の方に挨拶に伺い、現在のかわしまの里のご利用者様の人数や特徴、消化設備などを記載した用紙をお渡しすると共に、次回の避難訓練に参加して頂けないかお願いをしていく。	数ヶ月 次回訓練は6月頃実施予定。

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。